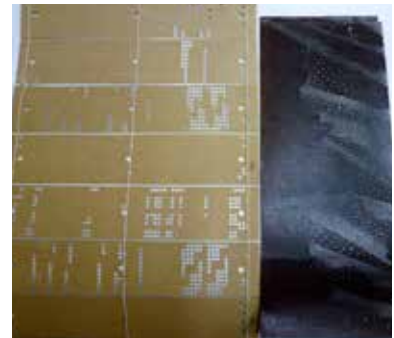


京都の伝統工芸に新しい技術・灯りでエコといやしを LEDあんどん



有限会社 アイ工房

独自に開発したLED照明と廃棄処分になる紋紙や染型を活用した、小型軽量の間接照明器具(行灯)。京都新聞(平成21年7月28日)で、同製品を再利用LEDあんどんと紹介されて後、「LEDあんどん」の名称が使われるようになりました。



京都西陣織(帯)の制作に使われた紋紙

もったいない京友禅染型・西陣織「紋紙」を再利用

近年、きものの需要が減少し、使われなくなった古い貴重な「京友禅染型」や西陣織(帯)の織に使われた「紋紙」が廃棄されています。消え行く染型や紋紙の美しい絵柄を残していきたいとの思いで製品づくりをしています。

特殊なLEDを使用

「LEDあんどん」は、平成17年に、地下鉄等で使用される表示板をメーカーが開発した際に、当社が協力して生まれた特殊なLEDを使用しています。紫外線・赤外線が極めて少量で、またLED単体での熱の発生を分散し、常温近くまで温度を抑えることから、製品自体が優しいものに仕上がっています。

エコといやし

「LEDあんどん」のLEDは、シンプルな構造で単体重量が2~3g(幅5^{mm}×長さ6^{mm}×厚み4^{mm})と軽量で、1日10時間の点灯で電気代も2~3円、その上50,000時間と長寿命です。また、京都の伝統工芸、きものの染に使われる原版と融合することで、紋紙や京友禅染型が持つ美しさがLEDの優しい光と調和し、ほっとした空間が生まれます。



エコ・トピックス

古き良き物が時代の流れとともに廃棄されていきます。きもの文化も同様で、心を込めて彫られた美しい京友禅の染型や西陣織に使われた紋紙など、貴重な資源は二度と戻りません。当社は、これら染型や紋紙を使い、軽量のLED技術を取り入れることで、手のひらに乗る小型(80g)から大型までの唯一無二の「LEDあんどん」を製作しています。

有限会社 アイ工房

所在地/〒601-8367

京都市南区吉祥院石原町10-13

TEL/075-662-2870

FAX/075-662-2872

URL/www.aikoubou-andon.com

E-mail/i-furuta@aikoubou-andon.com